

議会報告会

市民と語る会

議会報告会、市民と語る会を令和元年11月7日、8日、10日の3日間、5班編成で市内延べ8会場で開催し、43名の市民の方々より来場いただきました。

議会報告会は、議会広報委員会が企画立案を行い、会場準備や進行等も議員が行いました。

報告会では、初めに令和元年の定例会、臨時会の開催状況や、常任委員会、決算特別委員会等の審査状況、委員会派遣調査の報告を行いました。次に、「市民と語る会」として、特定のテーマを設けず市政全般や議会に関して幅広く意見交換を行いました。

皆さまからいただきました貴重なご意見やご要望は、議会として検討すべきものは検討し、生活環境に関することなどは当局へ速やかに伝えます。

当日皆様からいただきましたご意見、ご要望並びにアンケートの主な内

容は次のとおりです。

■会場で出された
主な意見・要望等■

《市議会に関する事
(議会運営等)》

◇イージス・アショアの件はいつ市議会の結論が出るのか。配置場所と防衛は分けて考えるべき。

◇一般質問の質問時間がどんどん減っている。市民のために声を届ける時間をなぜ減らさなければならぬのか。

◇議員の質問時間について、会派所属議員と無所属議員で差があるが平等であるべき。

◇議員の行政視察について、どのように選定しているのか。また、視察内容を生かすためどのように市に提案しているのか。

◇世紀越えトンネルの実現はハードルが高いと思う。議会が一枚岩でなければ実現できない。

◇今回の議会報告会の議員構成は地元で直結しており親しみやすかつ

たと感じる。



花輪市民センター会場

◇議会報告会の参加者が少ない。参加者の意見が何かに反映されていくようであれば、発言したかいがあったと感じるのでは。

《意見交換（鹿角に
関すること全般）》

◇若者の市外への流出については、中心市街地活性化策も合わせながら先を見通して進めることが大事である。

◇鹿角を担う子供たちのための施策に力を入れてほしい。保育や教育など独自の施策を掲げべきである。

◇小中学校の統合について、八幡平小と尾去沢小についても考えているかなくてはならないのではないか。

◇鹿角は多くの観光資源があるが、地元の人が「鹿角には何もない」と言っている。議員から地元の人向けに観光の勉強会を行ってほしい。

◇高齢者の交通機関の問題について、近隣市町村では100円バスというものもあるようである。高齢者や障がい者が住みやすくなるような対策を考えてほしい。

◇各地で災害が発生している。防災計画の見直しが必要ではないか。

◇公共施設等の避難場所が安全なのか。公共施設以外の避難場所の確保も必要ではないか。

◇一部の市民センターが経年劣化している。第7次総合計画の中で改修してほしい。

◇防災ラジオについて、難聴地域への対応はできないか。

◇市内で商店の閉店が相次いでいる。店を残すためにも地元の人が店を利用するような取り組みはできないか。

◇商店街に駐車場が少ないが、これも商店街を利用しない原因につながっていると考ええる。駐車場を造ることはできないか。

◇大館では工業団地で多くの人が働いている。大手企業を誘致できないか。

◇高齢者宅等の除雪について、除雪オペレーターが対象者宅前を低速で除雪し、置き雪を少なくする思いやり除雪はできないか。

◇高校の統合により鹿角に1校となる計画である。どのような学校がいいのか、議員からも積極的に再編に関わりを持つてほしい。

◇八幡平湯瀬地区について、連続雨量130ミリメートルを超える場合、国道282号が通行止めとなるが、どのような対策を考えているのか。

この先、鹿角市八幡平、鹿角市八幡平、尾去沢、連続雨量130mmに達すると、通行止めとなる危険があるため、通行止めとなる。

秋田県鹿角市八幡平、尾去沢、連続雨量130mmに達すると、通行止めとなる危険があるため、通行止めとなる。

豪雨時、帰宅困難者発生のおそれ

豪雨時、帰宅困難者発生のおそれ

豪雨時、帰宅困難者発生のおそれ